



やなぎ美智子からのお便り

事務所：市川市鬼高2-5-16 清央荘101号室

メールアドレス：kangoshi@hotmail.co.jp

やなぎ携帯：090-1508-7120

市内在住の知人から「ロシアのウクライナ軍事侵攻で大変な状態に置かれてる人々のことを思うと、居ても立っても居られない気持ちです。一日でも早く、平和が訪れるようにとの願いをこめて折りました」と千羽鶴を託されました。

市川市市民活動支援センター（旧八幡市民談話室）3階の市川市国際交流協会のラウンジに展示されました。展示が終了したら広島・長崎で行われる平和式典へ送る「平和の折り鶴」として羽ばたきます。ウクライナの鶴、日本の鶴、世界の鶴が一つに結ばれているのです。

平和への願いをこめて



ロシアはウクライナ侵略やめよ！ 国連憲章を守れ！



国際連合憲章【抄】1945年（昭和20年）10月発効

われら連合国の人民は、われらの一生のうちに二度まで言語に絶する悲哀を人類に与えた戦争の惨害から将来の世代を救い、基本的人権と人間の尊厳及び価値と男女及び大小各国の同権とに関する信念をあらためて確認し、正義と条約その他の国際法の源泉から生ずる義務の尊重とを維持することができる条件を確立し・・・国際の平和及び安全を維持するためにわれらの力を合わせ・・・

無料法律相談

6月14日（火） 7月12日（火） 午後2時～5時

市役所第一庁舎 6階共産党控室

相談を希望される方は事前予約が必要です。市役所共産党控室か、やなぎ美智子にご連絡ください。

電話：047-334-1111（内線18218）

みなさんの声を市政に活かします

「2022年市民アンケート」に、市民のみなさんのご意見・ご要望をお聞かせください。
ご協力よろしくお願いいたします。



新市長に実施してほしい政策についてもお聞かせください。

こちらのQRコードからもご回答いただけます

昨年の市民アンケートに寄せられた声がいり

若宮小学校前の歩道橋が改修されましたが・・・



住民から「50年以上経っているのに改修では不安」との声がありました。千葉県葛南土木事務所にお問い合わせところ「この歩道橋は、55年が経過している。横断歩道橋長寿命化修繕計画で、予防保全している。コンサルティング会社が、5年に1回点検し、4段階評価結果に応じた対応が義務付けられている。補修工事に対応できる点検結果だったとのことではないか」との説明でした。

歩道橋耐用年数は45年

住民から「歩道橋が改修されても、歩道が狭くて歩くのが危険だ。なんとかならないか」との声がありました。歩道の真ん中に支柱が建ち、階段部分が、歩道を占有しています。この状態で、半世紀以上経過しています。狭すぎて、ベビーカー、障がい者は通れません。住民の皆さんと共に、解決に向けて取り組んでいきます。

歩道橋がバリア!?



5月15日 千葉県教育会館

第48回千葉県自治体学校に参加しました



岡田知弘氏（京都橘大学教授）

コロナ禍で問われる公共と自治体の役割
憲法と地方自治の危機に立ち向かおう

コロナ失政の根本的原因は、感染症に対する危機意識の低下にある。保健所、公的・公立病院の統廃合、民営化の促進が招いた惨事である。コロナ禍を経験し、本来あるべき地方自治体像が見えてきた。足元の地域に視点を置き、地方自治体の地域経済政策を主権者である住民のものにしていかなければならない。（岡田氏の基調講演より）